

2015 年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」

3 年次調査の概要

- 調査対象者 学部 2013 年度生全員。
- 調査方法 2015 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。なお、本調査の回答と 1 年次終了時点での回答（2013 年度実施済み）を照合させるため、学生 ID の記入を求めている。
- 回収状況 回収数は 4271 票であり、在籍者数に対する回収率は 67.2%であった。

学部別回収状況（3 年次調査）

	在籍者数	回収数	回収率
神学部	65	51	78.5%
文学部	740	549	74.2%
社会学部	480	365	76.0%
法学部	910	567	62.3%
経済学部	937	636	67.9%
商学部	858	633	73.8%
政策学部	383	152	39.7%
文化情報学部	253	151	59.7%
理工学部	710	584	82.3%
生命医科学部	258	157	60.9%
スポーツ健康科学部	229	115	50.2%
心理学部	182	104	57.1%
グローバル・コミュニケーション学部	155	70	45.2%
グローバル地域文化学部	196	137	69.9%
合計	6356	4271	67.2%

Q4. 学生 ID をお答えください。

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

Q5. あなたの2015年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

Q6. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

Q7. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試 |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | (法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 4. AO入試 | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年次編入学試験 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

Q8. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、在籍している学部(学科) 2. 本学の他学部(他学科) 3. 私立他大学 4. 国公立大学
5. 短期大学 6. 専門学校 7. その他(具体的に)

Q9. 入学前の状況として、最もあてはまる番号に○をつけてください。

1. 国内の高校に在学 2. 浪人していた(予備校に在学も含む) 3. 国内の他大学・短大に在学
4. 国内の専門学校に在学 5. 会社で働いていた 6. 海外留学していた 7. その他()

Q10. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	いえない	どちらとも	やや不満	不満	
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9	
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9	
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9	
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9	
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9	
6) ラーニング・コモンズの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
7) 各学部が設置している学習スペースの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
8) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9	
9) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9	
10) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9	

(履修・利用していない)

Q11. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 先端領域科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 複合領域科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

Q12. あなたは次のような力が、今までの学生生活を経験されて、どの程度身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	つ 身 に な か っ た	あ ま り 身 に な か っ た	つ や 身 に な か っ た	身 に な か っ た
1) 一般的な教養	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4
12) 英語の能力	1	2	3	4
13) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4
14) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4
15) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4
16) チームワーク	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4
20) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4
21) 批判的に考える力	1	2	3	4
22) 効果的に学習する技能	1	2	3	4
23) 自ら考え行動する力	1	2	3	4
24) キリスト教精神	1	2	3	4
25) 日本文化に関する知識	1	2	3	4
26) コミュニケーション能力	1	2	3	4

Q13. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

Q14. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

Q15. あなたは、大学入学後に次のような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

Q16. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 協調性を持つこと	1	2	3	4
9) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
10) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
11) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
12) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
13) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

Q17. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	そう思う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

Q18. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4

Q25. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り	た ま に し た	し た 日 常 的 に
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) ラーニング・コモンズを利用する	1	2	3	4	
3) 各学部が設置している学習スペースを利用する	1	2	3	4	
4) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
5) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
6) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
7) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
8) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
9) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
10) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
11) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	
12) 部活・サークル活動に参加する	1	2	3	4	
13) アルバイトをする	1	2	3	4	
14) 語学に関する勉強をする	1	2	3	4	
15) ゼミや卒業論文、卒業研究に取り組む	1	2	3	4	
16) 公務員・教員採用試験の勉強をする	1	2	3	4	
17) 資格試験の勉強をする	1	2	3	4	
18) キャリアセンターを利用する	1	2	3	4	

Q26. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する | 5. 他大学に(編)入学する | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない | 8. その他(具体的に |) |

Q27. あなたが働くこと(希望進路)について真剣に考え始めたのはいつごろですか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------|
| 1. 大学入学前 | 2. 大学1年生のとき | 3. 大学2年生のとき |
| 4. 大学3年生の4月から9月 | 5. 大学3年生の10月から3月 | 6. まだ考えていない |

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学学習支援・教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

授業に対する取り組み (Q13)

授業に対する学生の取り組み状況について確認する。Q13 では、授業に対する行動や態度を捉えることを目的に、11 項目を設定し、各項目に対して 4 段階（「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」）で質問している。

図 1 は、実行頻度の多い順に項目を並べたものである。「授業課題の提出」を「全くしない」と回答した学生はごくわずか（1.8%）であり、9 割近い学生は実行（「たまにする」「よくする」）している。「黒板に書かなかったことでもノートを取る」ことや「試験前に時間をかけて勉強をする」ことについても、8 割程度の学生が実行していることを確認できる。また、「業者の講義ノートを購入する」ことに対して、「全くしない」と回答した学生も 4 割を超えている。

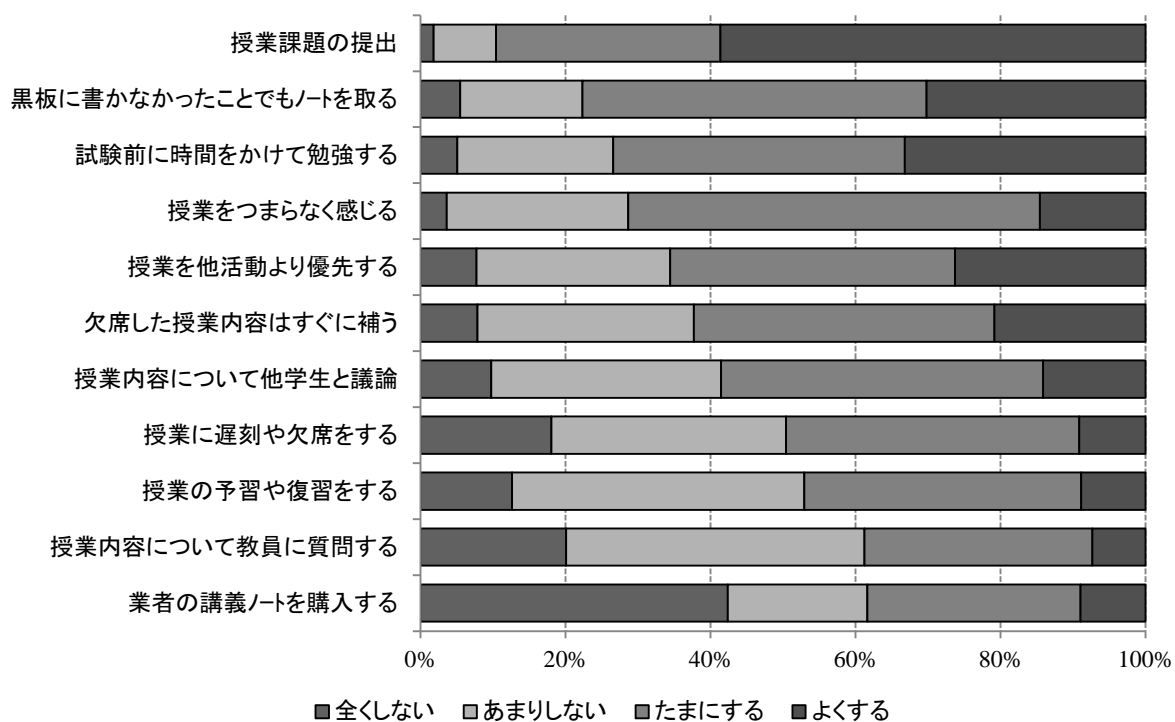


図 1：授業に対する取り組み

授業の形態・方法（Q14）

Q14では、3年間の大学生活のなかで、学生がどのような形態・方法の授業を受講してきたのかを確かむために、11項目を設定し、各項目に対して「全くなかった」から「よくあった」までの4段階で回答を求めている。回答を集計した図2から、大多数の学生は「出欠の確認」や「定期的な課題提出」を日常的に経験していることが見てとれる。そうした一方、3年次終了段階でも、「フィールド・ワーク」、「体験学習」、「実習・実験」といった実践形式の授業については、4割ほどの学生が未経験のようだ。

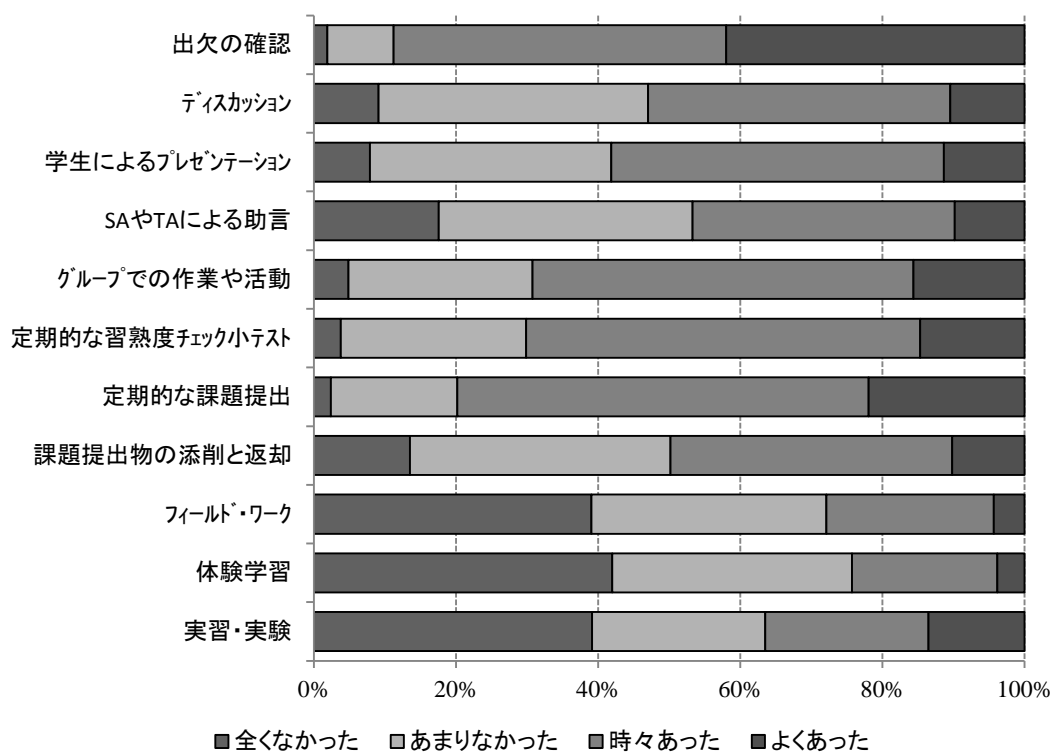


図2：授業の形態・方法

留学等の経験（Q15）

Q15では大学入学後の留学等の経験について質問している。回答をまとめた図3を見渡すと、大学入学から3年が過ぎた段階でも、全体として留学経験がある者は一部の学生に限定されることが示されており、「語学研修プログラムへの参加」が13.5%、「正規交換留学生として留学」が3.9%、「私費留学生として留学」が6.6%であった。

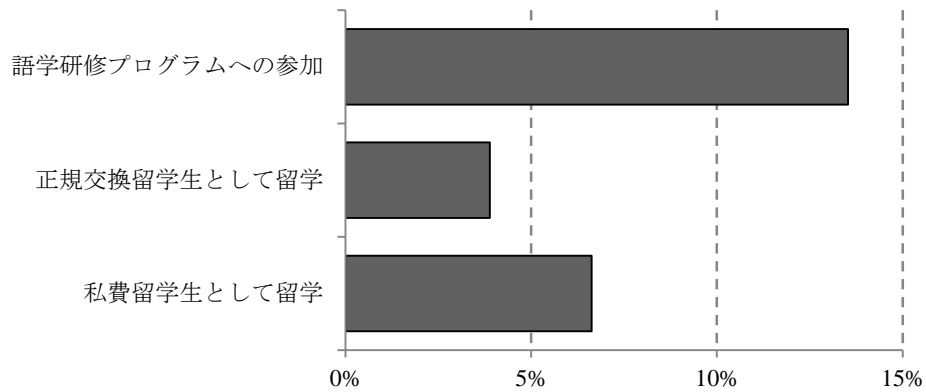


図3：留学等の経験

授業に対する評価（Q16）

Q16では、大学の授業内容がどの程度に役立っているのかを、13項目にわたって質問し、各項目についてそれぞれ「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」の4段階で回答を求めている。図4は、「やや役に立った」と「役に立った」の合計（%）が多い順に項目を整理した結果である。

図4から、項目によって、授業に対する学生の評価は異なっていることが理解できる。学生の評価が最も高かった項目は「多様なものの見方にふれること」であり8割以上の学生が役立った（「役に立った」と「やや役に立った」の合計）と回答している。さらに、「探究心を持つこと」、「協調性を持つこと」、「大学生としての自覚を持つこと」についても、学生の評価はきわめて高いことを確認できる。これらの項目に対する評価と比べて、「国際的視野の獲得」、「愛校精神を持つこと」、「リーダーシップを発揮すること」に対する学生の評価はあまり芳しいものではない。いずれの項目についても、2/5程度の学生が役に立たなかった（「役に立たなかった」と「あまり役に立たなかった」の合計）と回答している。

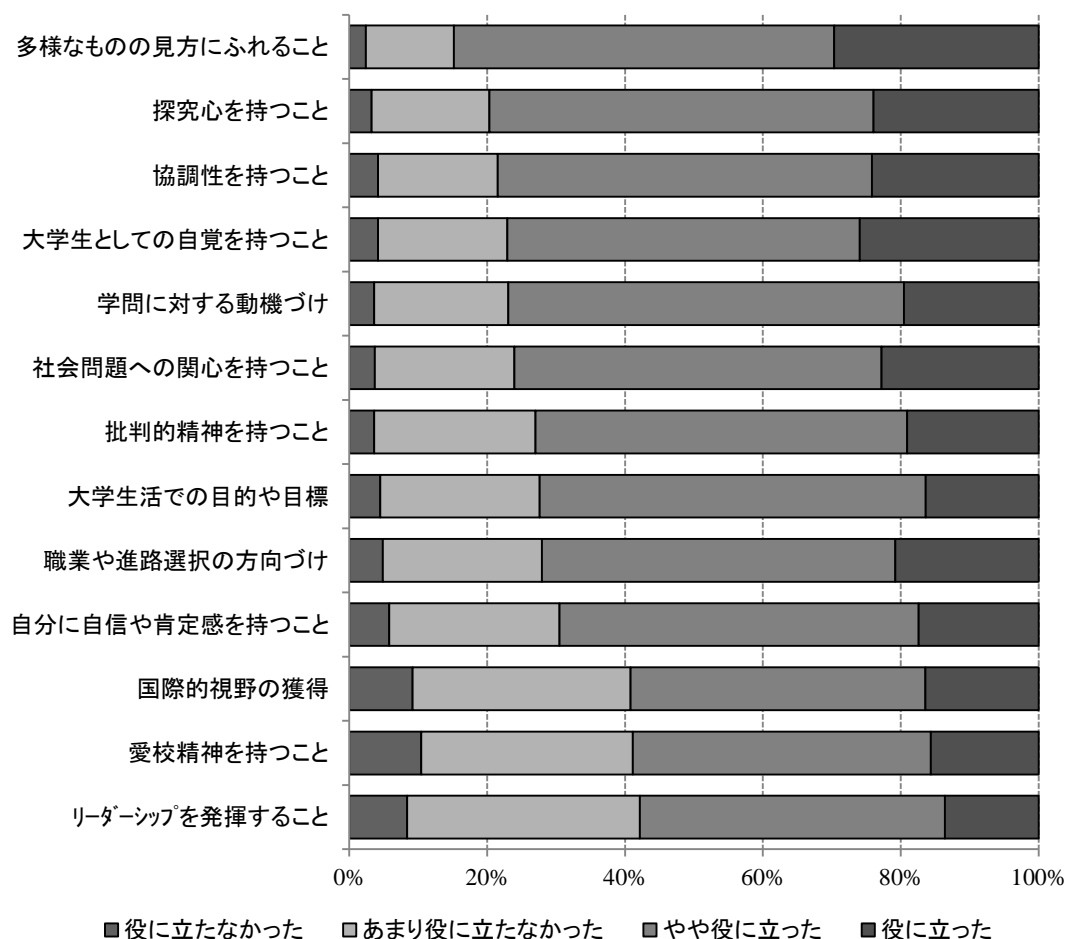


図4：授業に対する評価

大学教育の価値 (Q17)

Q17 では、大学教育に対して、本学の学生がどのような意識を持っているのかを把握するために、6項目を設定し、それぞれの項目について「そう思う」から「そう思わない」までの4段階で回答を求めている。

図5は回答をまとめた結果であるが、これによると、8割以上の学生が、本学での学びを楽しみ、学ぶこと自体に価値があると考えているようである。大学教育の職業的価値と言われる「知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」ことや「卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」ことについても、7割以上の学生が肯定的に認識していることが示されている。しかしながら、およそ半数(51.5%)の学生が、大学で「何を学んだかは就職活動の結果に関係ない」と考えていることも同時に示されている。

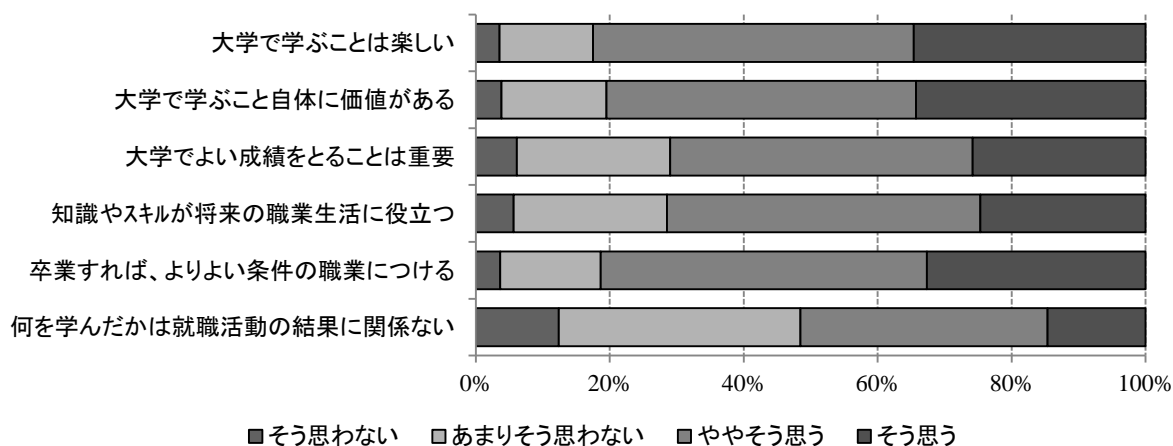


図5：大学教育の価値

大学への適応状況（Q18）

大学入学から3年が経過した学生の適応状況をみていく。Q18では、友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を捉えることを目的に、6項目を設け、各項目について、「あてはまる」から「あてはまらない」までの4段階で回答を求めている。図6には、肯定的な回答である「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計が多い順に項目を集計し並べている。

回答結果をまとめた図6には、多くの学生が所属学部・学科のみならず他大学にも友人関係を形成していることが示されている。加えて、「大学の教員と交流がある」に対しては6割をこえる学生が肯定的な回答（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）を行う一方、「大学はいつも退屈だ」、「大学は気おくれして居心地が悪い」への肯定的な回答は3割以下にとどまっている。さらに、「大学の教員と交流がある」に対する肯定的な回答は過半数を上回り、1年次調査の回答と比較すると大幅に増加している。これらの回答結果を総合的に判断すると、多くの学生は積極的に大学生活を送っているものと推測できる。

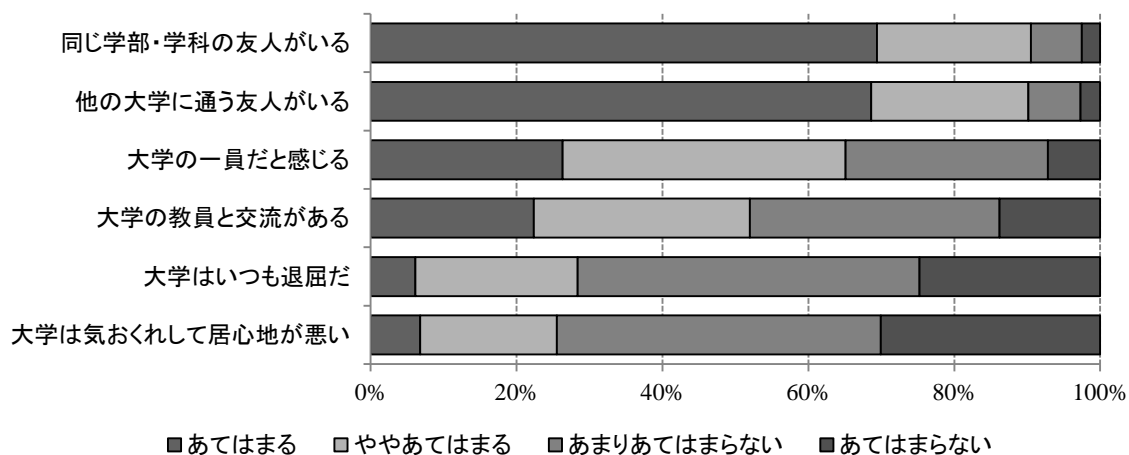


図6：大学への適応

生活時間【部活・サークル、アルバイト、授業外学習、読書】(Q20)

図7は、一週間あたりの「部活・サークル」「アルバイト」時間を示している。「部活・サークル」の活動時間は、「0時間」が40.1%ともっとも多く、平均は5.83時間であった。「アルバイト」でもっとも多いのは「6~10時間」(22.8%)であり、「16~20時間」(19.5%)が続いている。なお、平均は12.12時間であった。

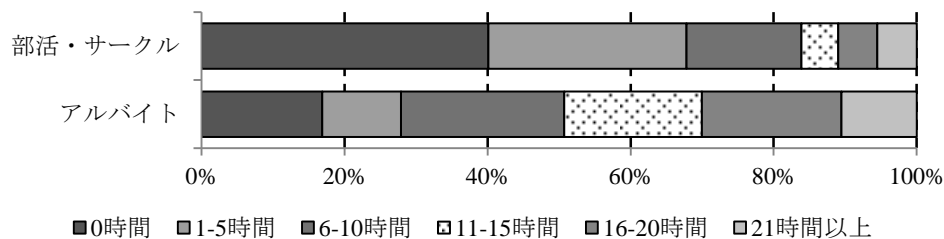


図7: 一週間あたりの部活・サークル、アルバイト時間

図8は、一週間の「授業外学習」と「授業に関係ない読書」時間を示している。「授業外学習」でもっとも多い回答は「1~2時間」であり3割を大きく上回っている(35.1%)。なお、平均は4.66時間であった。一方、「授業に関係ない読書」時間は、「1~2時間」との回答がおよそ1/4を占め(26.1%)、平均は5.35時間であった。

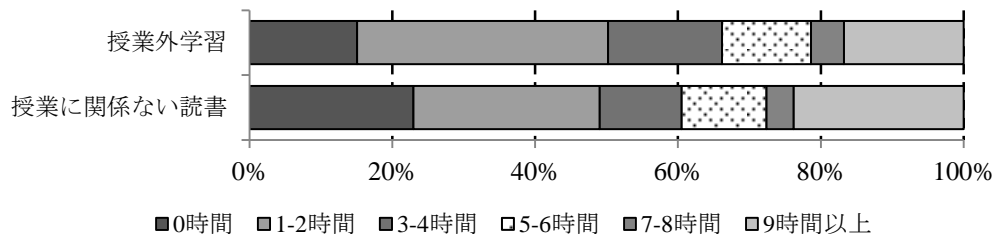


図8: 一週間あたりの授業外学習、読書時間

部活・サークル活動（Q21・22）

図9は学生の部活・サークルへの加入状況を示す。3年次終了時点でも、本学では、半数ほど（53.8%）の学生が部活・サークルに加入している。

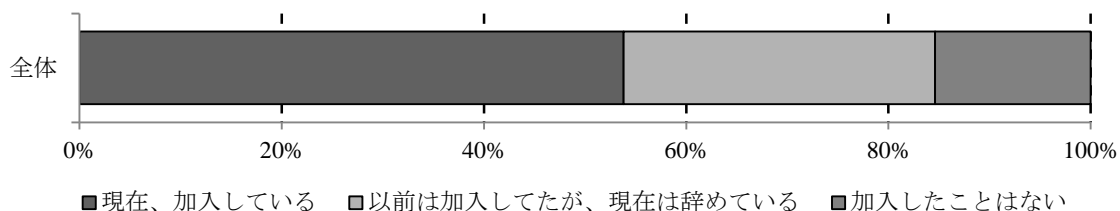


図9：部活・サークル等への加入状況

図10の学生の加入する部活・サークル団体の種別をみると、全体として、もっとも多くが加入している団体種別は「公認文化系」（38.1%）であり、「公認スポーツブロック」（23.5%）が続いている。

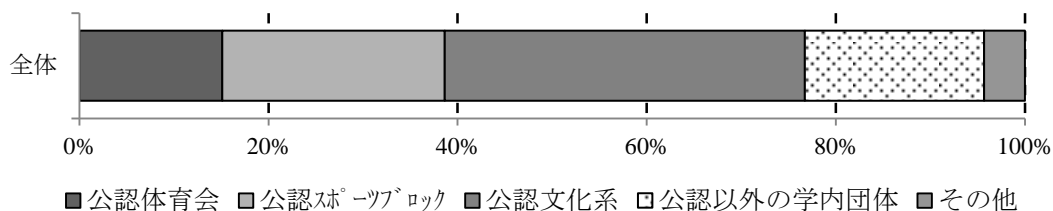


図10：加入団体の種別

満足度（Q23：大学教育全般の満足度、Q10：領域別満足度）

図 11 は、教育全般に対する満足度を集計したものである。「どちらかといえば満足している」と回答した学生が 47.4% で最も多く、「満足」（23.1%）との回答を含めると、7 割の学生が本学の教育内容について満足している。一方、「不満」と感じている学生は 1 割未満である（「不満である」=1.9%、「どちらかといえば不満である」=5.4%）。

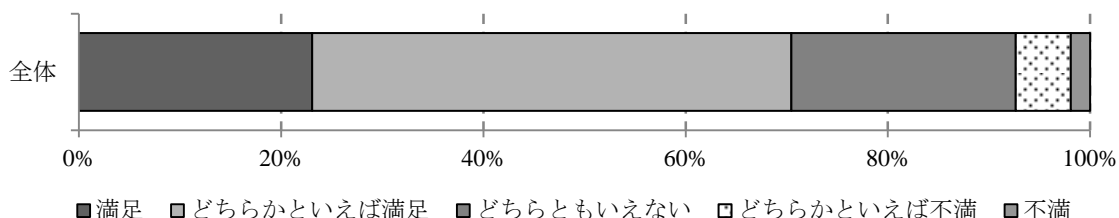


図 11：教育全般に対する満足度

Q10 では、大学の設備環境や授業科目など、各領域別に満足度を問うている。図 12 は、「満足」と「やや満足」の合計 (%) が多い順に項目を整理したものである。

図 12 から、「図書館の環境や設備」「教室の設備環境」「所属学部・学科の専門の授業」「ラーニング・commons の環境や設備」に関しては学生の満足度は高く、不満（「やや不満」と「不満」の合計）を表明した学生は 1 割程度にとどまっている。そうした一方で「免許・資格課程科目の授業」「就職に関する情報提供や相談」「英語・外国語の授業」に対する学生の満足度は、やや低い傾向にあることが読み取れる。

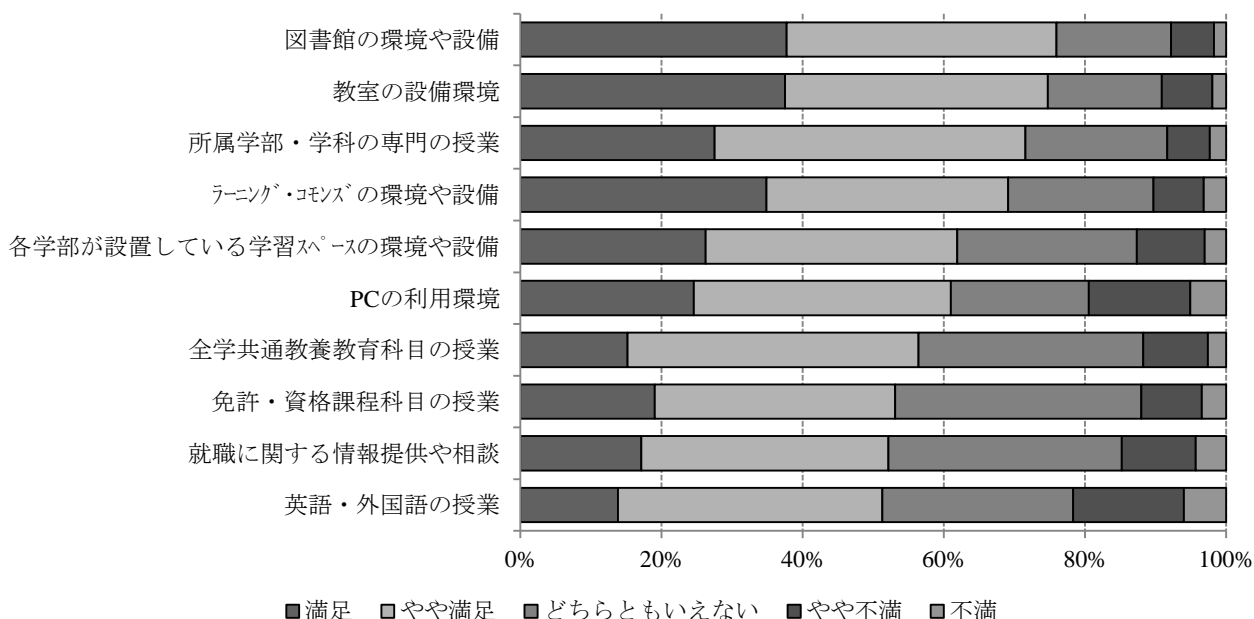


図 12：領域別満足度

大学に対する愛着（Q24）

図13は、「あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか」という設問（Q24）に対する回答を集計したものである（回答の選択肢は、「非常に愛着がある」、「かなり愛着がある」、「ある程度愛着がある」、「あまり愛着がない」、「まったく愛着がない」の5段階である）。

図13によると、3年次終了時点で、およそ4割の学生が本学に対して強い愛着をもっていることがわかった（「非常に愛着がある」と「かなり愛着がある」の合計=41.2%）。一方で、「あまり愛着がない」との回答は10.8%、「まったく愛着がない」との回答はわずか2.7%にとどまっている。

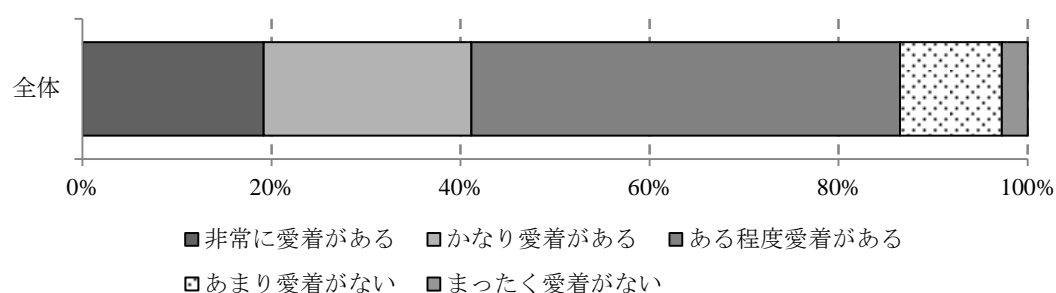


図13：大学に対する愛着

学習・生活習慣（Q25）

大学入学から3年が過ぎた学生の学習行動や生活習慣を検討する。図14は肯定的な回答である「日常的にした」と「たまにした」の合計が多い順に回答を集計した結果である。1年次調査の結果と同様に「PCを使って文書や資料を作成する」「図書館を利用する」「インターネットで情報を収集する」の実行頻度は高い。3年次調査の独自項目については、「アルバイトをする」「部活・サークルに参加する」「ゼミや卒論・卒研に取り組む」といった項目で実行頻度が高いことを確認できる。

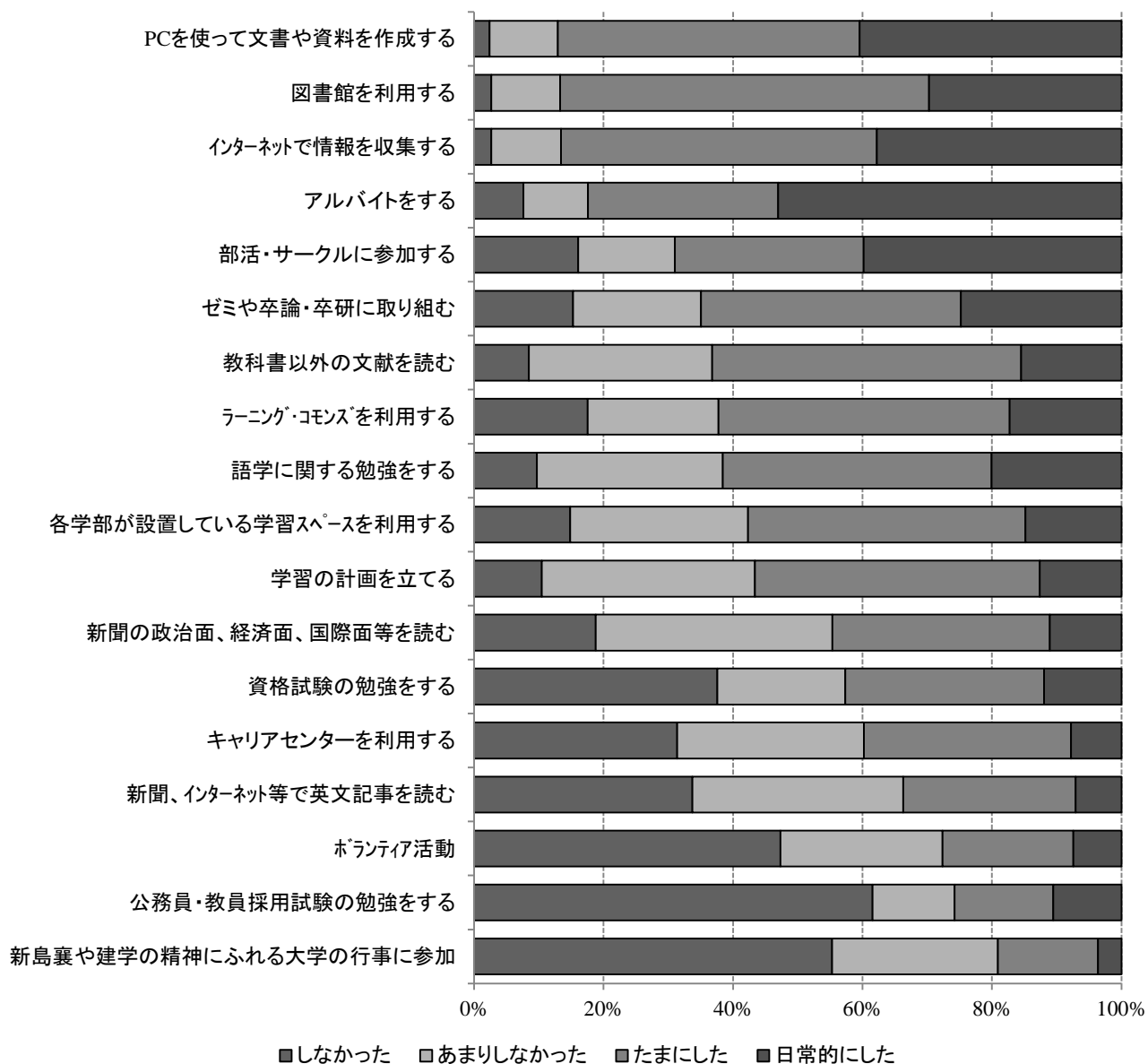


図14：学習・生活習慣

希望する進路（Q26）と考え始めた時期（Q27）

3年次生が卒業後の進路をどのように考えているのかを確認する。図15は、男女別に卒業後の進路希望を集計したものである。男性と比較して女性の方が、「民間企業・自営業」への就職希望者の割合が大きい（63.7%：75.2%）。その一方、女性で大学院進学を希望する学生の割合は7.1%であり、男性（15.9%）の1/2以下にとどまっている。

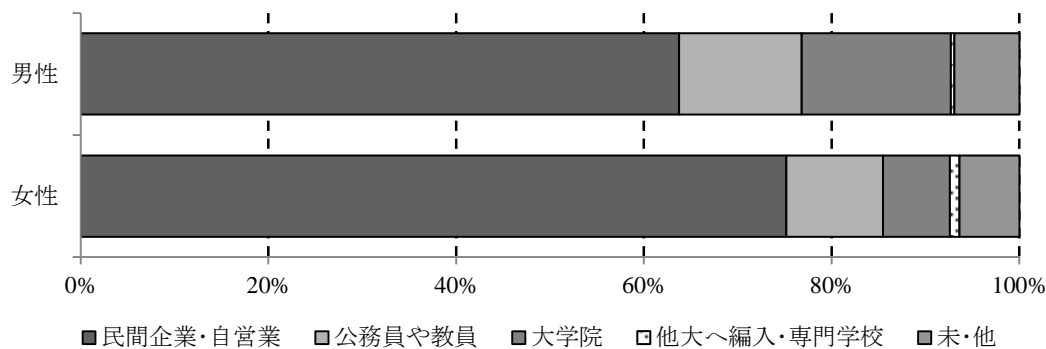


図15：卒業後の希望進路

3年次調査のQ27では、「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」時期について尋ねている。図16は、男女別に集計した結果である。ここからわかることは、男女ともに、半数以上の学生が3年次生に入ってから「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」ということである。一方、「大学入学前」から希望進路について考えていた学生は男性で13.1%、女性で11.4%であり、女性にくらべて、男性の方がわずかながら割合が多い。ただし、「未定」と回答した学生の割合は、女性の方が少ない（6.6%：3.0%）。

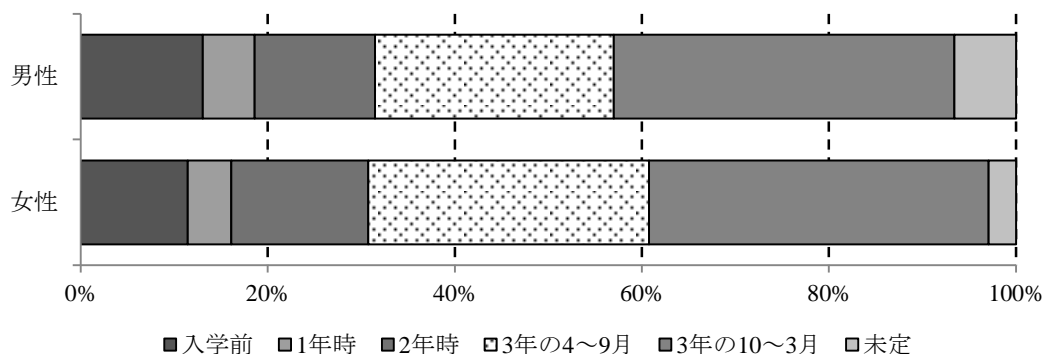


図16：希望進路を考え始めた時期